

令和3年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- (1)授業改善を図り、生徒の意欲を引き出し、確かな学力の向上を図る。。
 (2)キャリア意識を高め、主体的に科目選択に努め、第一志望の進路実現を図る。
 (3)規範意識を高めるとともに、いじめ事故根絶に努め、命を大切にする心の育成を図る。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	今年度も新型コロナウイルス感染症対策のために様々な制約があった中、夏季休業の短縮やオンライン学習等で授業を確保し、必要な学習指導は行うことができた。 来年度から始まる新学習指導要領への対応を進めるため、観点別評価や1人1台端末の校内研修を行うなど、学校全体で共通理解を図ることができた。	コロナ対策を行う必要がある中で、オンライン学習を取り入れる等、工夫した取組が見える。「都市型進学型総合学科」としての特色を生かした学習活動が、学力向上や様々な成果に結びついている。今後も継続した取組を期待したい。
改善方策	今後も多様化する生徒の実態を踏まえ、都市型進学型総合学科の利点を活かした「旭川南高校だからこそできる教育」の実践を継続し、さらなる授業改善や、探究心・表現力等の育成を図り、「主体的・対話的な深い学び」の推進に努める。	
生徒指導	保護者、地域、関係機関と連携・協力を図りながら、全教職員の共通理解の下で生徒指導を行うよう心がけている。またSNS等でのネットトラブル防止に向け、今後も生徒が主体的に取り組む活動を継続していく。	学校外で生徒をよく見かけるが、身だしなみ等は特に問題ない。交通安全指導もしっかり実施されている。今後も継続した指導をお願いしたい。 制服については、時代の潮流に合わせて一考の余地があるのではないかな。
改善方策	管内でも高校生のSNS等でのトラブルや自転車事故が増加傾向にあるので、ルールやマナー等について、あらゆる機会を捉えて、注意喚起を図っていく。今後も学校全体で共通理解の下、事故やトラブルの未然防止に努めたい。	
進路指導	今年度は難関大学に多数の合格者を出す等、進学実績において一定の成果を収めた。 コロナ禍で例年通りの講習等はできなかったが、系統的計画的な進路指導がなされるように心がけた。	9割以上の保護者が肯定的な意見を持っているので、先生方の熱心な進路指導がなされていると感じる。 一方で数は少ないかもしれないが、多様な進路に対応するため、就職指導にも力を入れてもらいたい。
改善方策	生徒には授業の大切さや、講習や模試等の目的や意義をしっかりと伝え、学習意欲の喚起と学力向上を図り、生徒の進路意識を向上させ、一人一人の進路実現につなげていくよう努めていく。保護者への情報提供の機会も増やし、さらなる連携を図っていく。	
公表方法	Webページ（学校HP）、学校だより、PTA入会式、PTA総会、学校評議員会等で公表	